13. HLH, HFSH, Radioimmunoassay kit の使用
—特に産婦人科領域における測定値について—

松岡順之介，荒木　省子，黒川ひとみ
（小倉記念病院　放射線科）
松崎日出夫
（同　産婦人科）

我々は，1972年2月以来，HLH, HFSH, RIA, kit を使用して，最近では autowell counter により現在まで約210検体について測定を行なった．

今回は主として産婦人科臨床における成績について報告した．

(1) 標準曲線作成のため測定値のばらつきは比較的小さい．

(2) LH 値は Blasen mole，妊娠初期にも高値を示し Freedmann 反応などより便利である．

(3) 不妊について高低高 Gonadtropin 性無排卵症の鑑別に有意義である．

14. テトラソルブによる甲状腺機能検査

佐分利淳二
（熊大　放射線科）
中村　郁夫
（同　中央放射線部）

(1) トリオゾルブによる T_3 値は正常者，甲状腺機能低下症及び甲状腺機能亢進症の重なりの範囲が比較的広いが，テトラゾルブによる T_4 値では重なりの範囲が狭くなり，T_7 値では，正常者と甲状腺機能亢進症に多少の重なり合いが認められたのみで，正常者と甲状腺機能低下症とは与く分離できた．

(2) 正常者，甲状腺機能低下症及び甲状腺機能亢進症の T_3 値と T_4 値との関係を調べると，両者はおよそ正の相関を示した．また，逆に負の相関を示すものは T・B・P に変動がある事を推測できる．

(3) 甲状腺機能亢進症患者に ^{131}I 経口治療を行ない，投与後の血清サイロキシンの減少を経日的に観察した結果，7例は投与後速やかに減少し，7日以後減少傾向は緩慢になってきたが，他の1例は，投与2日目より上昇傾向を示し，5日目が最高となり以後減少した．

この様に ^{131}I 投与後に於ける血清サクロキシンの減少を指標として甲状腺機能亢進症の治癒過程が観察できるものと思われる．

質問：　中川　昌壮（熊大　第3内科）

治療のため投与した ^{131}I の Conversion による影響をどの様に考慮して除外しておられますか．

答：　佐分利淳二（熊大　放射線科）

現在，我々は，^{131}I 投与後血清を長期冷凍保存したものをウルタイプのシンチレーションカウンターにかけ ^{131}I が残存してない事を確かめ測定している．

質問：　木下　博史（長大　放射線科）

甲状腺機能亢進症に ^{131}I 治療された場合の血清 T_4 値変動を示された中で，1例のみ一過性上昇を示したものがありましたが，特殊な疾患が変わった経過をとった等の事があればお教え下さい．

答：　佐分利淳二（熊大　放射線科）

甲状腺機能亢進症があった他には余病はなかったと記憶している．

特別講演

腫瘍陽性スキャンの研究の現況

国立九州がんセンター
前田　辰夫

Presented by Medical*Online